

令和5年度第1回伊丹市総合交通会議  
進捗管理部会

議 事 録

伊丹市総合交通会議

令和5年度第1回伊丹市総合交通会議進捗管理部会議事録

1 日 時 令和5年10月18日(水) 14時～

2 場 所 伊丹市役所 1階 101会議室

3 出席者 【委員】(敬称略)  
井上 学委員、毛海 千佳子委員、大池 津由美委員、野津 俊明委員、  
岡 伸治委員、絆地 真晃委員、大中 淳司委員、浜名 順也委員、  
山崎 進委員、新田 博史委員 雨森 尚子委員、安藤 一平委員、  
今村 勉委員

【欠席委員】  
片岡 大蔵委員、阿瀬 弘治委員

【事務局】  
交通政策室長 木村 克治、交通政策室主幹 本多 康久、  
交通政策室主幹 前田 泰彦、都市安全企画課長 乾 義昭  
交通政策課長 溝淵 成典、交通政策課主査 野中 麻記、  
交通政策課主任 金 香織

4 傍聴者 なし

5 次 第

- (1) 開会
- (2) 委員及び事務局職員の紹介
- (3) 部会長の選出
- (4) 部会長あいさつ
- (5) 議題
  - ①伊丹市総合交通計画(中間改訂版)進捗状況の評価(案)
  - ②伊丹市自転車活用推進計画取組状況の評価(案)
- (6) 閉会

## 議事記録

### (1) 開会 (省略)

### (2) 委員及び事務局職員の紹介 (省略)

### (3) 部会長の選出

- ・委員総数15人のうち13名が出席しており、本会議が成立していることを確認。
- ・事務局案により、部会長に井上委員を選出。

### (4) 部会長あいさつ (省略)

- ・「伊丹市審議会等の会議の公開に関する指針」第5条第3項の規定に基づき、本日の会議録の署名人に雨森委員、安藤委員を指名。

### (5) 議題

#### ①伊丹市総合交通計画(中間改訂版)進捗状況の評価(案)

- ・I 基本目標1 快適な移動を支える都市環境の整備  
<事務局より配布資料-4について説明>  
<主な実施施策の説明>
  - ・「ITAMI BICYCLE MANUAL第3弾」(事務局)
  - ・伊丹警察署作成動画「ルールをまもろう!じてんしゃくん」(伊丹警察署)

#### 【意見・質問】

部会長： 基本目標1の評価等について、ご意見やご指摘、またはご質問はございますか。

委員： 2つ質問があるんですけど、今、説明されていた2つの動画は誰が見て、どのような機会に使用されていますか。

また、自転車レーンに隣接した「普通自転車歩道通行可」の交通規制の廃止について説明がありました。私は、普段は自転車を利用していますが、交通規制の廃止を知らなかったの、相変わらず歩道を自転車で走っていました。自転車レーンの車両が少なければ、自転車レーンを走っていますが、そうでない時は歩道を走る習慣がついているので歩道を走っていました。私は、交通規制が廃止になったことを知っている人が少ないというイメージがあります。交通規制の廃止について、どういところで発信をされているのか教えてください。

委員： まず、動画「ルールをまもろう!じてんしゃくん」の運用についてなんですけれども、YouTube配信のほか、春の全国交通安全運動週間で実施したパレードで幼稚園の園児らに歌っていただいたり、演奏を担当していただきました伊丹北高校の吹

奏楽部の演奏会で流していただいています。また、先日行われました「暴力団・暴走族・薬物乱用追放安全安心まちづくり伊丹市民大会」では、警察音楽隊の演奏を交え、伊丹署員が合唱する等の発信をしております。完成しましたCDについては、幼稚園や保育園、小中学校、協力いただける企業、商業施設で希望があるところに配布しております。現在のところ116枚のCDを、市内関係各所に配布しております。そこで流していただければ、徐々に耳にする機会が増えるのではないかと考えておりますが、まだお耳に届いていないということは、まだまだ啓発が足りないということかなと思います。

また、免許を持っていない方とかですね、小さなお子さん、高齢の方にも広く知っていただくために、わかりやすく、歌にして耳に残るようにということで広まればと、今年の3月に歌を作成しました。発表した時は、新聞報道にも取り上げていただいたので、曲の内容を知らなくてもこういう歌があるんだなと知っていただけたらと考えております。

次に、「普通自転車歩道通行可」の交通規制の廃止についてですが、まず大前提として自転車の通行すべき場所は車道なんですよという啓発を行っているところです。歩道通行可、あくまで「できる」なのであって、歩道を走るのは「例外」なんですよということ、広く自転車利用者の方に啓発していくことが重要と考えており、歌でも啓発を行っているところです。

併せまして、この度「普通自転車歩道通行可」を廃止した場所には、平行して自転車専用通行帯も設けております。自転車専用通行帯を設けている場所は、自転車専用通行帯を走らなければならないと道路交通法で決められています。自転車利用者がわかりやすい様、青色の着色や自転車マークを入れる等の路面標示を行い、規制を行っておりますので、まずは道路を見た時に、自転車マークがある所はそこを目印に走っていただくという様な事を周知しているところです。

自転車レーンを新設されました場所においても、街頭活動や交通安全指導という形で、警察職員と市職員と一緒にキャンペーンを行っておりますし、普段走っている自転車につきましても、指導取締と並行しまして、自転車レーンを走ってくださるという形で、周知しているところになっております。

委員： 歌は、幼稚園児に歌ってもらおうとかはすごくいい事だと思います。動画の発表が3月なので、聞いてないのは当たり前かなとか思いました。「普通自転車歩道通行可」の交通規制の廃止は、なかなかわかりづらいです。

私は、ほとんど毎日自転車に乗っていますが、指導を受けたことがないし、そこに警察の方が立っていることを見たことがないです。自転車専用通行帯は自転車を通るんだよってというのは、どれだけ知っているかはクエスチョンマークだと思います。まだ発信が足りないのではと思っていますので、今後も頑張っていたいただけたらと思います。

自転車は免許が必要なものじゃないので、多分わかりません。自転車専用通行帯を通るって言うんですけど、やっぱり怖いし歩道を走るのが習慣になっているので、ちょっと時間かかると思うけど、まず知らない人がほとんどなので、なるべく指導をしていただきたいです。私も頑張っていて、いろんな人に伝えていこうとは思いますが、そんな状況だということは知っておいていただけたらと思います。

部会長： 他、いかがでしょうか。

それまで自転車で日常的に歩道を走っている所が、最近禁止になっても、普段気付かないことが多いです。これは周知徹底していく必要があるでしょう。普段からお声掛けいただくとか、中学生になったら自転車で走る機会が増えるので、小学校6年生ぐらいの子ども達に「交通ルールはこうなっている」と学校から発信されるとか、今回のYouTubeで自転車の乗り方やマナーが分かるので、例えば免許更新講習の時に、実は自転車はこうなっていますっていうのを、やっていただければと思います。

他府県の免許更新講習で、以前はバスの乗り方といった公共交通についても発信されていて、皆、免許を持っているけど、普段自転車や市バスを利用する人も多いので、そういった交通に関連した事を発信されるのも一つの方法です。冊子を配ってQRコードで見えていただいてもいいと思います。

また、歌に関しても、普段からいろいろなイベントで流していただければと思います。

委員： 事故の件数を減らすという事が1番の目的で、実際ものすごく減少しており、成果として大きなものだと思いますので、その点をしっかり振り返って、数字として記載してはどうかと思います。

また、令和4年度の進捗状況の評価で、△印の「目標を下回る」という評価をされている「交通安全教室の参加者数」に対して、今後、どの様に取り組んでいかれるのかが少しわかりにくいなところがあります。

また、評価指標の表の見方として、「概ね」というのは、1割未満等、何か決まったルールがあたりするのでしょうか。

事務局： 交通安全教室の参加者数についてですが、令和4年度につきましてはまだコロナ禍でしたので、なかなか人を集められない状況でした。啓発手法を模索する中、YouTubeでの動画配信といった、ご自宅でも見ていただけるような手法を用いる等、様々な機会を通じた交通安全に関する啓発を行っていたことから、評価案を記載しております。

令和5年度につきましても、交通安全の啓発は引き続き、継続的に取り組む必要があると思います。イベント等も再開しておりますが、現場に加え、さらに動画による啓発も併せて実施していきたいと考えております。

また、「概ね」に関するルールについては、計画値に対して何割等、厳密に設定はしておりません。今後の課題として、事務局の方で検討させていただきます。

委員： 交通安全教室なんですけど、学校での開催状況を教えて下さい。

事務局： 小・中学校につきましては、教育委員会で実施をしております。都市安全企画課では、放課後児童クラブ等の学校授業の一環ではない時間内に、教室や講座を実施しております。

委員： 高校はどうですか。伊丹市には4つの高校があって、市内のあちこちで朝と夕方によくの自転車が走ってるんですけどすごく怖いです。高校に対して実施されていますか。

事務局： 高校や一般企業に対して都市安全企画課で実施しておりますので、今回の評価指標の件数に入っております。

- 委員： 高校生の自転車の運転が怖いので、高校の方をなるべく頑張ってもらいたいです。よろしくお願いします。
- 事務局： わかりました。あと、伊丹市立伊丹高等学校につきましては、兵庫県の「スクエア・ストレイト自転車交通安全教室」実施校に選定されましたので、今年は違う形での自転車教室を実施しております。
- 部会長： 自転車運転時にヘルメットをつける方がカッコいいね、そういう雰囲気になったらいいなと思いますので、素敵なヘルメットのデザインがあれば広めていただければと思います。

## ・Ⅱ 基本目標2 交流を支える公共交通の充実

<事務局より配布資料-4について説明>

<主な実施施策の説明>

- ・JR西日本Ma a Sアプリ「WESTER」（JR西日本）
- ・「空の日」を3年ぶりに開催（関西エアポート）
- ・トミカ第2弾発売、「まちなかバル」や「グリーンジャム」と市バスの連携（市交通局）
- ・自動車教習所の無料送迎を路線バスで代替（兵庫県尼崎市）（阪神バス）

### 【意見・質問】

- 部会長： 基本目標2の評価等について、ご意見やご指摘、またはご質問はございますか。
- 委員： 今年の空の日イベントが入場制限なしで開催され、たくさんの来場者が期待できるということで、駐車場が非常に混雑するというのがリスクであるというお話でしたが、例えば、伊丹市交通局と何か連携している取り組みについて、教えていただきたいです。
- 委員： 特段、増便をお願いしたいとかそういったことはございません。通常でも、各方面からバスでのご利用がございまして、イベントは10時開始ということで、ラッシュ時間にかかるわけではないので、特段の対応というのは取っていない状況です。
- 委員： 混雑をなるべく無くした方がいいかなということと、公共交通をなるべく使って欲しいということで、そのためのプロモーション等を上手く連携できたらいいのかなと感じました。その点に関しては特に取り組みがないということでしょうか。
- 委員： その通りです。
- 委員： 阪神バスの自動車教習所の無料送迎を路線バスで代替する取り組みは、非常にいいアイデアだと感じております。まさしく総合交通会議として、限りある資源を有効活用でき、三方良しだと思います。こういった取り組みは他のバス会社等も出てきている話なんではないでしょうか。
- 委員： 恐らく、当社が初めてだと思います。
- 委員： 他のバス会社も同じく、このような取り組みをしたいという動きがあったりするのかわかりませんが、ご存知でしたら教えていただけますか。
- 委員： この取り組みをする際に、近畿運輸局もいい取り組みとしてプレスリリースをいただいております。近畿運輸局からも推していただいております。

事務局： 空の日のイベントで補足させていただきます。10月28日に開催されます今年のイベントに、交通政策課が、本市の日本遺産事業とコラボしまして、交通局で運行しています空港線のPRに行かせていただきます。空港に来られている方に対し、今日はもしかしたら車で来られているかもしれないのですが、実は便利なバスがあるよと。またその路線の沿線には、「スカイパーク」や「こども文化科学館」等、いろいろ楽しめる施設もあるので、ぜひ次回にご利用いただきたいというところをPRしていきたいと考えております。

部会長： 他、いかがでしょうか。

評価指標に基づいて利用者を増やしていくのは当然ですし、利用者の皆さんに公共交通の良い点を気づいていただくとか、インセンティブを発信していく中で、今回の取り組みは公共交通に関心を持っていただける取り組みです。こういうことを定期的にやっていただければと思います。

JR西日本の「WESTER」の使い勝手が良くなりまして、大阪駅や新大阪駅等の飲食店で利用できるクーポンや列車の位置情報が分かるなど使い勝手が良いです。何よりICOCAカードの残額がスマホでわかりますのでおすすめです。

また、市内でイベントを実施する際は、アクセス案内の先頭に、バスを利用するとどうやって行けるかを書いていただけるように各団体にご協力いただければと思います。どうしてもイベントのアクセス案内の先頭は高速道路での案内が多いんですけど、そうではないような案内方法が一番と思いますので、進めていただければと思います。

公共交通とお酒は親和性高いので、このバルというのは定期的に進めていただければいいなと思います。また、公営交通の伊丹市、神戸市、京都市、高槻市の4市に共通するのが「酒処」なんです。是非そういう視点で、お酒のイベントで公営交通の4局が連携すると、また新たな切り口が出ると思います。是非そういった、広域的な取り組みをされることで伊丹市、神戸市、京都市、高槻市って面白いまちだなと交流が生まれる時に、必ず皆さん鉄道を使いますので、これは鉄道事業者さんにとっても全然悪い話ではないと思います。今後こういったことができればいいなという風に思います。

### ・Ⅲ 基本目標3 地域資源と市民力を活用した交通まちづくり

<事務局より配布資料-4について説明>

<主な実施施策の説明>

- ・キッズフェスでの自転車交通安全教室（阪急バス）

#### 【意見・質問】

部会長： 基本目標3の評価等について、ご意見やご指摘、またはご質問はございますか。

子どもたちに、自転車やバスに関する体験はとても大事なことで、すぐ成果があらわれることではないんですけども、これは継続的にやっていただければと思います。小さいうちの体験が一番重要ですので、どうしても行政の中では、「成果があったんですか」とか、「数字はどうなんですか」とか聞かれますが、これだけの

参加があつて、最後にアンケートをとって、「よかった」とか「安全意識が高まった」みたいなアンケート結果があると、説明しやすくなると思いますので、少し手間がかかるとは思いますが、本当に継続が一番大事ですので、やっていただければと思います。

阪急バスで今年の夏休みに行った、小学生向けのフリーパスはどんな感じでしたか。

委員： 夏休み特別企画で、今年初めて小学生を対象に阪急バス全線1,000円で小学生が使える定期券を200枚限定で発売させていただきました。実際、1枚だけ売れ残り、199枚販売しました。例年夏休みは小学生の定期券ご利用は少ないので、その企画券の方がほとんどだと思のですが、夏休み期間中、約5,000回ご利用いただき、この辺りもちょっと興味を持っていただいてご利用いただけたのかなと考えております。

また、「環境おでかけ割」っていうのをやっています、土日祝日に通勤定期をお持ちの親御さんとお子様と一緒に乗られた際に、お子様の運賃が無料になる取り組みを行っております。

さらに、これも夏休みということで、グランドパスという高齢者専用パスについても「環境おでかけ割」の対象とさせていただきました。例えば、関東にお住いの方がお孫さんを連れて里帰りされた時に、土日にお爺ちゃんやお婆ちゃんと一緒にバスに乗ったら、無料になるといった取り組みをさせていただいて、お子様の利用が、4月と比べると2.5倍になりました。

こういったお子様にファンになってもらう様な取り組みについて、今後も取り組んでいきたいと考えております。

部会長： 他、いかがでしょうか。

京都では、乗車時に「エコサマー」というキーワードを言ったら子どもの運賃が無料になる取り組みがあつて、利用したことがあるんですけど、子どもから「なんでエコサマーなの」との質問に対し、公共交通を使うのは環境に良い事だからだよって理解いただきました。

直接の収入にはならないんですけども、子どものうちからバスに乗る習慣があると、おそらく高校になった時に、定期券を購入いただけることと期待できますので、息の長い取り組みですが継続してやっていただければと思います。

委員： この地域資源の活用で、伊丹市とバス会社等が連携して、将来のバスユーザーを育てて、意識啓発していくところに非常に共感し、阪神北泉民局では今年度から、市町が行うMM（モビリティ・マネジメント）についての補助金を創設しました。今年度実施していただいているのは、川西市の小学生向けにバスの大切さを教える授業です。

現在、令和6年度予算の要求をしており、将来のユーザーを育てていく事が大切だということを本日、部会長からもお聞きし、兵庫県事業も是非続けていける様に取り組みたいので、ご理解ご協力をお願いします。

部会長： 私達もそうなんですけど、乗ったことがない乗り物って心のハードルが高いです。子どもの時に、いろんなバスに乗ったことがあると、そんなに苦なく乗ってくれるところがあります。もう一つは、保護者も一緒に乗られると、保護者自身が



「なるほどこのバスは前から乗るのね」、「このバスは後ろから乗るのね」という事がわかりますので、是非、補助金を活用し、取り組んでいただければと思います。よろしく願いいたします。

## ②伊丹市自転車活用推進計画取組状況の評価（案）

- ・テーマⅠ 「まもる」自転車通行ルールが守られているまち
- ・テーマⅡ 「はしる」自転車が走りやすいまち
- ・テーマⅢ 「とめる」自転車を美しくとめるまち
- ・テーマⅣ 「いかす」自転車が活用できるまち

<事務局より配布資料－5について説明>

### 【意見・質問】

部会長： テーマⅠの評価等について、ご意見やご指摘、またはご質問はございますか。

自転車のハザードマップは良い取り組みですので、各所で共有いただければと思います。みんなが何となく気を抜きそうな場所が可視化されますので、またこれを逆に車を運転される方や、バス事業者さんにもお渡しいただいて、この辺でちょっと危険なことがあるって事を共有できると良いと思います。

バスのドライバーさんもかなり気を付けておられ、営業所の中でもハザードマップを作られているんですが、それと照らし合わせることで、さらに安全・安心なまちづくりができると思いますので、是非、共有いただければと思います。

次に、テーマⅡの評価等について、ご意見やご指摘、またはご質問はございますか。

この辺り、先ほどと重複している点もございますが、引き続き周知徹底することで、できる限り知っていただくと、また、皆様方のネットワークで伝えていただければと思います。よろしく願いいたします。

次に、テーマⅢの評価等について、ご意見やご指摘、またはご質問はございますか。

委員： 進捗状況が下回る取り組みということで、自転車盗難防止がありますが、自転車の盗難が増えているということですか。また、どんな場所で自転車が盗難に遭うのかが気になったのと、無施錠の自転車の割合が約7割と、鍵をかけられていない自転車がそんなに多いのですか。

委員： まず、盗難が多い場所は、駐輪されている台数が多い駅周辺であるとか、大型商業施設の駐輪場というところは、そもそも止まっている台数が多いので、統計的に見ると、そこが多いという表現になります。発生場所につきましては、市内全域で盗難が発生している状況があります。戸建住宅の前に止めているとかですね。例えば、外から入れる駐車場の中に、無施錠で止めている自転車が盗難に遭うケースが多発しております。一部、鍵をしていて壊されている場合もありますが圧倒的に多いのは無施錠です。

少しの間止めておられて被害に遭うケースとか、人通りが少ないから鍵をさされていない場合に盗まれているケースが非常に多くなっているところですので、少しの間でも、確実に鍵をしていただくということと、資料にありますように「ツーロック」ですね。一目見て「鍵をしてるな」となると、盗難を諦めるケースは非常に多いです。時間がかかればかかるほど人に見られるというのを犯人は非常にきらいますので、そういう形で「ツーロック」を浸透していく必要があるのかなと思います。

また、最近では電動アシスト自転車の台数が増えてきており、電動アシスト自転車のバッテリーだけが盗まれるケースもあります。普段、充電のため鍵を掛けずに、自転車には鍵を掛けてもバッテリーに鍵を掛けずに盗難に遭うケースもありますので、ひと手間掛かりますが、バッテリーも鍵を掛けていただく事が大事かと思えます。

さらに、今でしたら、ヘルメットの着用が努力義務化されていますので、ヘルメットも併せてハンドルと操作しにくい所にワイヤー状でくくりつけるとか、もう物理的に運転ができないような状態にして、駐輪するとかの形で工夫していただくと、盗まれるリスクが低減されるのではないかとこのところがあります。

部会長： 要は、バイクとか車の感覚と一緒に、ちゃんと止めましょうねっていうのが大事なことですね。

次に、テーマⅣの評価等について、ご意見やご指摘、またはご質問はございますか。

(意見・質問等なし)

それでは、「伊丹市総合交通計画（中間改訂版）進捗状況の評価（案）」、「伊丹市自転車活用推進計画取組状況の評価（案）」についての協議を終わります。

本日、委員の皆様からいただいた評価内容の整理を、部会長預かりで、部会長と事務局で調整の上、「進捗管理部会での評価」として集約を行ってよろしいですか。

(各委員了承)

ありがとうございました。

## (6) 閉会（省略）

令和5年度第1回 伊丹市総合交通会議進捗管理部会議事録として確認します。

令和 年 月 日

令和5年度第1回伊丹市総合交通会議進捗管理部会  
議事録署名委員 \_\_\_\_\_

令和 年 月 日

令和5年度第1回伊丹市総合交通会議進捗管理部会  
議事録署名委員

---